

## 米騒動に関する文献目録

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

社会労働研究

(巻 / Volume)

14

(開始ページ / Start Page)

371

(終了ページ / End Page)

381

(発行年 / Year)

1960-12-15

辻　　ア　イ　母ちゃんを書いた（未来社） 1959.9  
木　村　　毅　まわり灯籠 続（井上書房） 1959.9  
　　〃　　上野理一伝（朝日新聞社） 1959.12  
鈴木茂三郎　私の歩んだ道（文芸春秋新社） 1960.9  
荷　見　　安　米と人生（わせだ書房） 1961.9

〔1961年9月30日〕

- 有沢・宇佐美編  
大島・渡辺  
歴史学研究会  
小山弘健  
浅田光輝  
井上晴丸  
信夫清三郎  
片山選集刊行会  
中部日本新聞社編  
小山・岸本  
揖西・加藤  
大内・大島  
ソ同盟科学  
アカデミー  
編集委員会  
〃  
〃  
小山・岸本  
渡辺  
大森真一郎  
救貧制度研究会  
小山・渡部・信夫  
労働運動史研究会  
労働者教育会共編  
吉田久一  
木下宗一  
斉藤弥一郎  
刊行会  
農民運動史研究  
会編  
矢加部勝美  
編集委員会
- 日本資本主義研究入門 Ⅲ 第六章 (日本評論新社) 1957  
日本歴史講座 Ⅵ (東大出版会) 1957  
日本帝国主義史 Ⅰ (青木書店) 1958.11  
日本資本主義の発達と農政 1958  
大正デモクラシー史 Ⅱ (日本評論新社) 1959  
片山潜選集 Ⅲ (河出新社) 1959  
新日本史のカギ Ⅳ (東大出版会) 1959  
日本近代社会思想史 (青木書店) 1959  
日本資本主義の発達 Ⅱ (東大出版会) 1959.12  
日本現代史 (河出新社) 1959.12  
部落問題講座 Ⅱ (三一書房) 1960  
講座社会保障 Ⅳ (至誠堂) 1960  
真説日本歴史 Ⅰ 大正デモクラシー (雄山閣) 1960  
片山潜 Ⅱ (未来社) 1960  
米価政策史 (三一書房) 1960.3  
日本の救貧制度 (勁草書房) 1960.4  
現代反体制度運動史 Ⅰ (青木書店) 1960.5  
日本労働運動の歴史 戦前篇 (三一書房) 1960.10  
日本残酷物語 Ⅴ (平凡社) 1960.8  
日本社会事業の歴史 (勁草書房) 1960.9  
日本百年の記録 下 (人物往来社) 1960.11  
富山県社会運動史 (富山県社会運動史刊行会) 1961.2  
資料愛媛県労働運動史 Ⅱ (愛媛大学)  
日本農民運動史 (東洋経済新報社) 1961.4  
労働者の歴史上 一われら親子三代期一 (理論社)  
日本生活風俗史 産業風俗篇 2 (雄山閣) 1961.5
- (D) 文学作品・伝記
- 江口 渙  
堀田善衛  
山代 巴  
田中惣五郎  
武田芳一  
西口克己  
中沢好富
- 我文学半生記 (青木書店) 1953  
夜の森 (講談社) 1955  
荷車の歌 (世界) (筑摩書房) 1955.56  
吉野作造 (未来社) 1958  
黒い米 (市民評論) 1号 1958.10  
山宣 (中央公論社) 1959.3  
米屋の小説 (自費出版) 1959.5

- 天 野 卓 郎 1918年米騒動における階級対立 (歴評) 123, 124号 1960. 11. 12  
 法 大 歴 研 香川県の米騒動 (法大歴研会報) 16号 1960. 11  
 座 談 会 大正七年の米騒動若尾焼打事件を語る (甲斐史学)  
 6. 7号 1959
- 増 島 宏 米騒動研究の報告 (労働運動史研究) 5号  
 難 波 英 夫 米騒動研究の先駆者 (労働運動史研究) 8号 1959  
 吉 岡 吉 典 島根の米騒動 (郷土) 5. 7. 9. 10. 11号 1959~1960  
 小 山 弘 健 米騒動について (現代の歴史) 1960. 8  
 田 口 勝 一 郎 米騒動と秋田県 (秋田近代史) 11月号 1960  
 片 山 潜 第一次世界大戦後における日本革命運動の批判的総観 (復刻)  
 (中央公論) 11月 1960
- 松 尾 尊 兌 米騒動と軍隊 (人文学報) 13号 1961. 1  
 吉 村 朔 夫 米そらどうと炭鉱賃金制度 一方米制度の解体と職種別標準賃  
 金の形成一 (産業労働研究所報) 23号 1961. 1
- 住 田 利 雄 米騒動における住吉部落の動き 一その真相と「米騒動の研究」  
 の記録とのちがいはどこからでてきたのだろうか一  
 (部落) 137号 1961. 6
- 杉 島 孝 博 愛知県に於ける米騒動 一その革命的意義一 (金城大論集)  
 16号 1961. 7

(C) 論及した著書

- 解 放 連 盟 日本革命運動小史 (人民社) 1946  
 片 山 潜 日本における階級闘争 (伊藤書店) 1948  
 守 屋 典 郎 日本資本主義発達史 (ナウカ社) 1948  
 栗 原 百 寿 農業危機の成立と発展 (帝国主義講座) 1949  
 信 夫 清 三 郎 大正政治史 II (河出書房) 1950  
 服 部 之 総 物語日本の労働運動 9 (理論社) 1953  
 住 谷・高 日本学生社会運動史 一京都を中心に一 (同志社大学出版部)  
 小 倉 1953. 2
- 井 上 清 日本の軍国主義 II (東大出版会) 1953  
 高 野 義 祐 新川から宇部へ 1953  
 井 上 正 清 日本近代史 六章 (合同出版社) 1955  
 鈴 木 正 四 第三貧しさからの解放 (中央公論社) 1955  
 近 藤 廉 男 近代及現代日本史 (大月書店) 1956  
 エ ド ウ ス 部落の歴史 (理論社) 1956  
 井 上・北 原 日本労働運動・社会運動研究史 (三月書房) 1956  
 小 山 弘 健

- 金原左門 米騒動段階における国民教化の一過程 (教育史研究) 6 1958
- 阪本楠彦 暉峻・地主制と米騒動の書評 (読書新聞) 941号 1958
- 花田大五郎 米騒動 一朝日新聞からみた明治・大正・昭和—  
(週刊朝日奉仕版) 1958.8
- 久松千代 米騒動の40周年 (アカハタ) 8月9日号 1958
- 柘井義則 米騒動の思い出 (アカハタ) 8月20日号 1958
- 井上清 米騒動前の国民生活 (人文学報) 8号 1958
- 村越末男 米騒動に於ける未解放部落の研究 第3輯 (部落問題研究)  
1958.10
- 山辺健太郎 1918年の米騒動について (前衛) 147,148号 1958, 11~12
- 座談会 大正史の諸問題 2 一米騒動と国民生活の変化—  
(歴史評論) 101号 1959.1
- 無署名 高野・米騒動記の書評 (朝日新聞) 2月28日号 1959
- K 高野・米騒動記の書評 (アカハタ) 3月21日号 1959
- 藤井忠俊 高野・米騒動記の書評 (歴評) 107号 1959
- 信夫清三郎 井上・渡部 米騒動の研究 I の書評 (読書新聞)  
992号 3月9日 1959
- 小山弘健 井上・渡部 米騒動の研究 I の書評 (読書人) 205号  
3月9日 1959
- 増島宏 井上・渡部 米騒動の研究 I の書評 (図書新聞)  
3月21日 1959
- 宮川寅雄 井上・渡部 米騒動の研究 I の書評 (新読書)  
259号 4月号 1959
- 討論会 大正デモクラシーと社会主義運動の復活 (現代史研究)  
7月号 1959
- 暉峻衆三 米騒動と農民 (アカハタ) 8月3日号 1959
- 細川嘉六 片山潜の思い出下 (アカハタ) 8月8日号 1959
- 増島宏 米騒動とシベリア出兵 (学習の友) 第71号 9月号 1959
- 久保田和幸 文学に現われた米騒動 (法大歴研会報) 10号 1959.7
- 金原左門 米騒動をめぐる思想的動向 (日本歴史) 135号 1959.9
- 米倉猪之吉 峰地炭鉱の米騒動 (法大歴研会報) 13号 1959.12
- 法大歴研 長野県における1918年の米騒動 一闘争経過—  
(法大歴研会報) 15号 1960.10
- 金原左門 日本政党政治の成立をめぐる問題性 I (日本歴史) 148号  
1960.10

- 京大人文研 警察の見た米騒動 (歴史学研究) 180,182号 1955  
 里見新太郎 米そらどう (党建設) No. 44 1955  
 松尾尊兌 京都地方の米騒動 (人文学報) 5号, 6号 1955  
 法大歴研 神戸における米騒動 —米騒動の第二段階— (新史流) 特輯号 1955  
 久永豊男 豊橋の米騒動 (民科豊橋支部報) 1955  
 民科豊橋支部 蒲郡地区の米騒動 パンフレット 1955  
 星野登志夫 米騒動の一資料 大日本米穀会報所載・米価調節の経過について (歴史地理) 86—4 1956  
 金原左門 静岡の米騒動 (文化教育) 7—2 1956  
 金原左門 浜松地方の米騒動について (遠州郷土誌) 88—89号 1956  
 吉村 励 関西における米騒動 (大阪市大経済雑誌) 34巻5, 6合併号 1956  
 中村辛一 米騒動時の高田 (頸城文化) 9月号 1956  
 渡部 徹 大阪市古市町の米騒動 (人文学報) 7号 1956  
 九炭 芳 研 戦前における労働者の生活と闘争 (九炭労月報) 89号 1956  
 法大歴研, 米騒動聞書集転載  
 松尾尊兌 米騒動前後の摂津西浜部落 (部落) 76号 1956  
 無 著 名 米騒動の思い出 (アカハタ) 8月22日 1956  
 多田文三 四師団出動, 大阪の米騒動 (人物往来) 5月号 1956  
 法大歴研 岡山, 新潟米騒動聞書集 (法大歴研通信) 1~4号 1956  
 滝本知二 米騒動顛末記 (風土) 1956.1~1957.1  
 早大歴研 米騒動 (新しい歴史像) 2号 1957  
 安達正明 神戸の米騒動と社会主義者 (市民評論) 1—1 1957  
 草野 滋 富山県における明治30年米騒動 (日本史研究) 9月号 1957  
 増島 宏 岡山県の米騒動 (社会労働研究) 7号 1957  
 鶴原和吉 大正期民衆の変容 (近代日本史研究) 3号 1957  
 増島 宏 庄司・米騒動の研究の書評 (図書新聞) 390号 1957  
 梅原隆章 // // // (読書新聞) 1957  
 持田恵三 // // // (福島大商学論集) 26—1号 1957  
 松尾尊兌 米騒動研究のあゆみ (歴史学研究) 7月号 1957  
 榊井義則 米騒動の思い出 (アカハタ) 8月20日号 1957  
 高野清八郎 米騒動の教訓 (文芸春秋) 11月号 1957  
 無 署 名 資料瀬戸地方米騒動に関する予審報告書, 郡報告書 (中京大学論叢) 5号 1957

- 民主評論編集部 憲兵史の見た米騒動 (民主評論) 9月号 1947
- 王 城 肇 米騒動の社会的背景 (人民評論) 4—7. 8月号 1947
- 能 代 邦 夫 米騒動の思い出 (新しい世界) 39号 1950
- 井 上 清 米騒動研究文献 (歴史学月報) 3月号 1950
- 梅 島 和 夫 米騒動の伝統は生きている (新しい世界) 1951
- 前 島 省 三 米騒動の歴史的位罫 (部落) 36号 1952
- 田 中 三 郎 京都田中の米騒動 (部落) 36号 1952
- 山 村 順 之 助 解放の灯をもとめて 一京都の米騒動の発端と展望—  
(部落) 36号 1952
- 藤 田 俊 夫 実録米騒動 (農村春秋) 2—3 1952
- 犬 丸 義 一 大正政治史 書評 (歴史学研究) 160号 1952
- 藤 田 省 三 所謂米騒動事件の研究抄 (公安調査庁パンフレット) 1952
- 吉 河 光 真 米騒動の経済的背景 (商学論集) 22—4 1953
- 庄 司 吉 之 助 会津紀行 (歴史評論) 56号 1953
- 石 母 田 正 飯米問題について (党建設) No. 84 1953
- 酒 井 徹 米騒動 (歴評) 52—53号 1954
- 加 藤 文 三 米騒動の第一段階 (社会労働研究) 1号・2号 1954
- 長 谷 川 博 物語炎もつ坑夫 一字部の米騒動— (学園評論) 3—8 1954
- 増 島 宏 1918年の米騒動 —滑川の前後処置— (富山大学紀要) 3 1954
- 藤 井 忠 俊 米騒動をどうみるか (民科京都支部報) 24 1954
- 梅 原 隆 章 米騒動の発端について (日本資本主義講座月報) 10号 1954
- まつをたかし 米騒動の展開過程 (歴評) 58.59号 1954
- 石 母 田 正 米騒動の展開過程 (歴評) 58.59号 1954
- 庄 司 吉 之 助 米騒動の展開過程 (歴評) 58.59号 1954
- 村 山 雄 之 助 米騒動 (党建設) No. 12 1954
- 村 山 雄 之 助 片山潜 1918年米騒動について (党建設) No. 20 1954
- 小 菅・梅 田 一つの感想 (日本歴史講座月報) 1954
- 竹 村・松 崎 堺・岸和田の米騒動 (大阪市大見田ゼミ報) 1954
- 見 田・唐 住 米騒動資料集 山口之部 (私たちの歴史) 1号 1954
- 里 村 外 紹介 米騒動の経済的背景 (歴評) 51号 1954
- 早 大 歴 研 宇部の米騒動 (長周新聞) 16回連載 1955
- 竹 村 民 部 最近の米騒動について (訳) (前衛) 8月号 1955
- 高 野 義 祐 米騒動 奈良県 (新しい世界) 13号 1955
- 片 山 潜 米騒動 一地主的土地所有の矛盾— (中央公論) 6月号 1955
- ふるかわ・おさむ 仙台の米騒動 パンフレット 1955
- 近 藤 康 男 静岡県・米騒動日誌 パンフレット 1955
- 東北大グループ 米騒動と労働運動の再興 (図書新聞) 1955
- 金 原 左 門
- 小 山 弘 健

(C) 米騒動に論及した著書

- 賀川豊彦 精神運動と社会運動 15章 (警醒社) 1919  
協 調 会 最近の社会運動 13章 (協調会出版部) 1929  
田崎治久(編) 日本の憲兵 (軍事警察雑誌社) 1929  
市川正一 日本共産党小史 (暁明社) 1932  
中沢弁次郎 日本米価変動史 1933  
平野義太郎 日本資本主義社会の機構 (岩波書店) 1934

(D) 文学作品 伝記

- 橋本英吉 炭坑 (1918年の記録) (天人社) 1929  
山内謙我 暴徒 (文芸戦線) 8月号 1929  
麻生久 黎明 (新光社) 1924.3

三. 戦後の文献 (1961年9月現在まで)

(A) 米騒動研究書

- 庄司吉之助 米騒動の研究 (未来社) 1957  
暉峻衆三(編) 地主制と米騒動 (東京大学出版会) 1958.1  
井上清(編) 米騒動の研究 I (有斐閣) 1958.2  
渡部徹 // 米騒動の研究 II (有斐閣) 1959.3  
// 米騒動の研究 III (有斐閣) 1960.3  
// 米騒動の研究 IV (有斐閣) 1961.3  
山本繁 香川県の米騒動 (日農香川県連) 1959.10  
吉河光貞 所謂米騒動の研究(復刻版) (農民運動史研究会) 1959.11  
高野義祐 米騒動記 一その四十周年を回顧して  
(米騒動四十周年記念刊行会) 1959.2

(B) 新聞・雑誌論文

- 新居格 米騒動の思い出 (世界文化) 1-6号 1946  
細川嘉六 米騒動とその後の国民的成長 (世界評論) 9月号 1946  
細川嘉六 米騒動について (アカハタ) 8月10日号 1946  
原毅 米騒動はこう教えている 一大阪一 (社会評論) 3-4 1946  
細川嘉六 富山県下の米騒動 (自由評論) 1-8 1946  
原毅 米騒動の話 一神戸地方一(真相) 6月号 1946  
牛山辰雄 米騒動の真相を衝く 一大正期愛知県下の闘争一  
(人民評論) 2-9.10合併号 1946  
風早八十二 米騒動前後 (わたしの学生のころ) (学生評論)  
4-6.12月号 1947

（“The Class-Struggles” 2—5号 1918.12

内田 廉吉 米価騒擾と階級闘争（東京経済雑誌）1969号 1918.

## 二. 戦前の文献

### (A) 米騒動研究書

吉河 光貞 所謂米騒動事件の研究（刑事局思想研究資料51号）  
1939

### (B) 雑誌に掲載された論文

平沢 計七 鉱山鉱夫暴動の心理（労働及産業） 1919.5

片山 潜 The workers in Japan.（The Communist International）  
1919.10

布施 辰治 生きんがために（パンフレット） 1919  
—米騒擾事件弁論の公開—

J. A. Rabbitt  
宇野 木忠訳 米と社会政策（Asiatic Society） 1920

Ii kei Rice Riot, The Struggles of the people in recent Japan  
（社会主義研究）10月号 1920

鈴木 茂三郎 大正七年の米騒動回顧（太陽） 33—8 1920

山田 清三郎 1918年の8月（戦旗） 8月号 1928

中野 正人 神戸の米騒動追憶（戦旗） // 1928

朝田 浩二 各地の米騒動（文芸戦線） 6—8 1929

高瀬 謙二 米騒動の思い出（文芸戦線） // //

米村 嘉太郎 上野万世橋附近（文芸戦線） // //

片山 潜 大戦後における日本革命運動の批判的総観（中央公論）  
4月号 1931

湊 七郎 米騒動体験記（プロ科） 8—10 1931

太田 嘉作 米一揆論考（大日本農会報） 8.9.10月号 1931

細川 嘉六 大正七年米騒動資料富山県の部（大原社研雑誌） 9巻12号  
和歌山県の部 10巻12号 1932

無署名 戦争は何を齎したか（赤旗） 84号

無署名 米騒動、そして現在（赤旗） 163号 1932

片山 潜 日本における1918年の米騒動の15周年  
（The Communist International） 26—27 1933

鈴木 茂三郎 米騒動の追憶（自由） 3月創刊号 1937

中沢 弁次郎 米騒動の史的回顧（糧友） 12—8 1937

- 尾崎行雄 武断主義と暴動（一大帝国） // 10
- 山田忠正 雲上の悲喜劇（一大帝国） // 10
- 大隈重信 社会問題解決の急務（一大帝国） // 10
- 尾崎士郎 食わん乎餓えん乎（一大帝国） // 10
- 田中善立 暴動の真因は何ぞ（一大帝国） 1918. 10
- 越智秀一 階級的反感の緩和策（一大帝国） // 10
- 神戸正雄 食糧暴動に表われたる経済的道義と社会組織の欠陥  
（新日本） // 10
- 戸田海市 米価暴動の社会的意義（経済論叢） 7卷4号 // 10
- 滝本誠一 百姓一撻（経済論叢） // 10
- 棗田藤吉 米騒動の今昔（国民経済雑誌） // 10
- 櫛田民藏 米騒動ノ社会観（国家学会雑誌） // 10
- 大木遠吉 米騒動と特殊部落（大観） // 10
- 正親町秀薫 露国の二月暴動と日本の八月暴動（大観） // 10
- 三宅雪嶺 事実を事実とせよ（大観） // 10
- 横井時敬 米価問題の与えたる国民的教訓（太陽） // 10
- 横井時敬 米価問題の解剖（太陽） // 10
- 矢作栄藏 米価騰貴の原因と政府の施設（太陽） // 10
- 谷本富 米騒動の与えたる国民的教訓（中外） // 10
- 高信峽水 米騒動と人心の動揺（婦人世界） // 10
- 高野重二 婦人の非買同盟（婦人世界） // 10
- 鈴木文治 米騒動と友愛会（労働及生産） // 10
- 野坂鉄 何人が悪いのでもない（労働及産業） // 10
- 矢野為之 物価調節に関する史的研究（雄弁） // 10
- 湯原元一 米騒動の社会的批判と其救済策（雄弁） // 10
- 内ヶ崎作三郎 米騒動と我社会組織の欠陥（雄弁） // 10
- 鳩山春子 物価騰貴と国民の覚悟（雄弁） // 10
- 尾池義雄 桐の葉音（雄弁） // 10
- 嘉納治五郎 今回の米騒擾と其対応策（我が国） // 10
- 内田良平 米騒動と出兵鎮圧問題（亜細亜評論） // 10  
（財界要報） 炭坑暴動と坑夫問題（東洋経済新報） // 11.5
- 玉利喜造 米騒動について（日本及日本人） // 11.5
- 沢村康 米価問題について（帝国農会報） // 11  
——米価騰貴に関する農家の心得——
- 片山潜 A Japanese interpretation of the recent food riots.

- 堺 利 彦 カライド・スコープ (新社会) 1918. 9  
 山 脇 玄 階級斗争としての暴動と米価政策 (新日本) // 9  
 鎌田 栄吉(他) 米価の将来及び米価調節策と暴動の政治的経済的批判  
 (新日本) // 9  
 慨 世 逸 民 思想上より見たる米騒動 (新公論) // 9  
 遠 藤 隆 吉 国家心腹の病疾 (新公論) // 9  
 中 橋 徳 五 郎 方策を誤れる現内閣の失敗 (新公論) // 9  
 横 井 時 敬 愚劣なる米穀収用令 (新公論) // 9  
 渡 辺 鉄 蔵 経済上より見たる米騒動 (新公論) // 9  
 室 伏 高 信 水野内相の地位と施政の批判 (新公論) // 9  
 鷓 崎 鷺 城 米騒動と仲小路農相 (新公論) // 9  
 新公論主筆 騷擾我観 (新公論) // 9  
 杉 中 種 吉 時代大観 (新時代) // 9  
 湯 浅 豊 太 郎 階級的反感打破の急務 (救済研究) // 9  
 向 井 章 暴動発生の心理的観察 (救済研究) // 9  
 賀 川 豊 彦 暴動の心理 上中下 (救済研究) // 9~11  
 (社 説) 騷擾問題と食糧問題 (中外) // 9  
 三 宅 雪 嶺 言論圧迫の責任 (中外) // 9  
 大 山 郁 夫 米騒動の社会的及政治的考察 (中央公論) // 9  
 渡 辺 鉄 蔵 八月暴動と貧乏物語 (中央公論) // 9  
 吉 野 作 造 米騒動に対する一考察 (中央公論) // 9  
 福 田 徳 三 暴動に対し当局の態度 (中央公論) // 9  
 伊 達 主 幹 暴動と青年団 (帝国青年) // 9  
 松 原 木 公 米騒動の教訓と暗示 (東方時論) // 9  
 無 著 名 米!米!米! (東方時論) // 9  
 土 屋 興 米一搦の教訓 (日本及日本人) 739号 // 9  
 東 西 南 北 未曾有の食糧暴動 (日本及日本人) 739号 // 9  
 東 西 南 北 騒動は何の為に起れる (日本及日本人) // 9  
 堀 江 帰 一 米価問題の根本的解決 (日本及日本人) // 9  
 西 田 卯 八 食糧問題と社会政策 (日本及日本人) // 9  
 大 庭 柯 公(他) 食糧暴動と内閣の責任 (日本及日本人) // 9  
 堀 江・浮 田 米騒動評論 (日本一) // 9  
 (社 説) 米価の暴騰と各地の騷擾 (我が国) // 9  
 肥 田 理 吉 惨たり同胞の飢餓 (自由評論) // 9  
 井 口 孝 親 寺内伯に与う (日本及日本人) // 10

# 米騒動に関する文献目録

[1918. 8~1961. 9]

## 一. 当時（大正七年中）出た文献

- 河 上 肇 米価問題所見（大阪朝日） 1918. 8. 18~24  
片 山 潜 The meaning of the Rice Riot in Japan.  
（New York Call） 1918. 8. 25  
（財界要報） 全国の米価騒擾（東洋経済新報） 1918. 8. 30  
布 施 辰 治 物価問題騒擾の一観察（法律新聞）1444号 1918. 8. 30  
山 田 太 吉 暴動心理と教育（愛知教育雑誌） 1918. 8. 31  
河 田 嗣 郎 米価問題と朝鮮米（東京朝日） 1918. 8. 26~9. 5  
（社 説） 米一揆の教訓（実業之世界） 1918. 9. 1  
無 署 名 慈善か社会政策か（実業之世界） 1918. 9. 1  
鎌 田 栄 吉 国民を塗炭の苦に陥れたる米価暴騰について  
（実業之世界） 1918. 9. 1  
（社 説） 同盟罷工の頻発（東洋経済新報） // 9. 5  
（社 説） 騒擾の政治的意義（東洋経済新報） // 9. 5  
塩 入 太 輔 米価問題に対し根本的に解決せよ  
（法律新聞）1445号  
集 田 吉 次 郎 厳罪か寛罪か（法律新聞）1447号 // 9. 8  
（社 説） 時勢と選挙権（法律新聞）1447号 // 9. 8  
卜 部 喜 太 郎 騒擾事件の司法処分（法律新聞）1449号 // 9. 13  
矢 野 滄 浪 暴動と国家の破壊（時事評論） // 9. 10  
安 部 磯 雄 食糧に対する刻下の救済策と永久的解決策  
（実業之世界） // 9. 15  
土 屋 興 成金国の裏面（日本及日本人）738号 // 9. 15号  
（社 説） 騒擾処分（法律新聞）1451号 // 9. 18  
吉 原 正 隆 炭坑暴動の原因と其救済（政友） // 9. 25  
内 田 良 平 米価調節の根本義（亜細亜評論） // 9  
浜 口 雄 幸 米価調節の根本義（亜細亜評論） 1918. 9  
加 藤 勘 十 官僚政治家と民衆の社会的勢力（一大帝国） // 9  
橋 本 徹 馬 愛媛県遊説記（一大帝国） 1918. 9  
山 川 均 フォスト・アイドルネス（新社会） // 9